



楽農学校OB会だより 第3号

2009年8月



OB会だより 3号 挨拶



兵庫楽農生活センター楽農学校OB会
会長 西村 一

昨年の夏 会員の皆様のご賛同を頂き楽農学校OB会を設立致しました。

一年が瞬く間に過ぎました。この間、楽農生活センターの皆様のご指導OB会役員の方々のご努力、会員各位のご支援をいただき、まさにスタートの動輪が回り始めました。この一年は回り始めたばかりと、御報告申し上げます。

この一年間の活動の報告、これからの一年間の活動予定を検討する定期総会を8月29日(土)13時から楽農学校において開催したいと思います

会員の皆様には学校を訪れていただき、年に一度という方もいらっしゃるかもしれませんが、かつての仲間、懐かしい指導員、学校関係者の方々との交流をお持ちください

総会議事後、簡単ですが懇親会(アルコールなし)も予定しています。

会員の皆様のご出席を心からお待ち申し上げます。

楽農学校OB会の発足・活動に際してのメッセージ

垣内 指導員

OB会員の皆様、御元気で暮らしの事とご察し申し上げます。

さて学校を卒業(就農・生きがいコース)され、それぞれの地域で新たに職場に就職された方、ふるさと、また都会から田舎暮らしを満喫されている方いろいろあるかと思えます。貴方の地域の気候を参考にしながら、また、農業は経験産業ともいわれています。1年1年の繰り返しが作る技術を向上させていきます。失敗してもあきらめず会員相互の連絡を取りながらチャレンジして下さい。



西馬 指導員

皆様との出会いがあり、4年余りの年月が過ぎ自分の方が教えられました。在学中は何一つとして十分な指導もできず、こころ苦しく思っています。自然相手の農業は、一作毎が勉強かと思えます。その先には収穫の楽しみが待っています。

早目々の作業により、生育順調、肥料の節約、解っていても出来ないのが常です。皆様方の努力と愛情により育てることで、収穫の時には答えが出るだろう。

無理をせず、いつまでも健康で頑張ってください。



本岡 指導員

はじめまして、今年4月より、お世話になっております本岡です。早4ヶ月目になります。

農業を通じて、受講生の方との出会い、又作物栽培を通しての共の感動に、日々感謝している今日この頃です。

受講期間中は有意義に、そして楽しく研修していただき、「楽農学校に来て良かった」と思っていただけのように、努力してまいりたく思っています。



最後になりましたが、OB会の皆様様の益々のご健勝とご多幸をお祈りし、併せて今後、ご懇意にさせていただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

河合 指導員

4年がまたたく間に過ぎた感があります。就農コースの、修了生も24名を数へ、その出会いも反省の連続。研修生との1年間、2年間は、真剣に取り組んで居られる姿をみて、返って励まされたこともたびたびあった。栽培管理のアドバイスが、はたして的確に答弁できたのか、今日まで自答自問の日々。

また、生きがいコースふれあいは、4期~9期で延べ166名の半年ごと出会いも先輩指導員の対応を観て教わりつつ対応させていただいた。

現在も、就農コース12名生きがいコース38名と共毎日の研鑽の日々。

栽培技術のレベルアップを真に願いつつ邁進していきたい両研修生の折角、学校での経験がさらなる人生の糧となればと期待をしたい。



楽農の風 (神戸新聞の記事より)

農林水産関係の記事より

「病虫害情報の発信 兵庫県立農林水産技術総合センターでは病虫害の発生予測などを知らせる携帯サイトを開設した」

兵庫県立農林水産技術総合センターのホームページのトップ画面右下に携帯サイトのアドレスが記載されています。(情報の地域が限られています)

<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>

「農業に関する疑問の検索システムについて」

J A兵庫南では明石市を含む東播磨3市2町の支店と農産物直売所「ふぁ～みんSHOP」に19台の端末を設置した。端末は画面に指で触れる方式で、病気に効果のある農薬の検索や、作物ごとの栽培方法を紹介。



携帯や端末から気軽に調べられるのは便利ですね。京阪神間でも似たようなサービスがあればと思います。

岸本 豊子

私は第6期 生きがい農業コース（春、夏）卒業生です。（秋、冬）コースを受講出来なかった事が残念に思っています。現在、何とか家族に手伝って貰い、野菜作りに励んでいます。

もともと農家で野菜は義父が沢山作っており、私は、園芸、果実を趣味としていましたが、義父も歳を重ねていくもので、私に回って来て下さい。それなら、一から勉強をと云う事で受講を決めました。でも、卒業して、自分で作る事は大変でした。土作りからの作業、何て肥料を入れたっけ？からです。

種も色々買って、試しましたが、少し時期を逃すと発芽しない、苗で買って植えた、トマト、キュウリ、なす、色々、雨や虫などで半分はダメになり

ショック。連作など影響しているのでしょうか、SOS。

最近、量を多く作らないで、少しずつ時期をずらし、長期に収穫出来る野菜を選び、作る様にしています。昨年はビニールハウスを作りました。まだ一年生ですが、雨が降っても作業が出来楽しんでます、夏以外は、軟弱野菜が出来るので、近所にお裾分けして喜んで貰っています。

失敗ばかりの連続ですが、これが又いいのかも、無理せず、楽しんで、続けて行けたらと思います。先生方には大変お世話になりました。しんどい時もあったけど、楽しい思い出の方が多いです。生きがい仲間も出来最高です。



岸本さん家の
美味しそうな
野菜と果物たち

岸本さん家の
ビニールハウスの
外観と内部の様子



トマトがマンゴーに

石井 良實

サラリーマンを辞め就農して早3年が経ちました。定年を待たずして会社に見切りをつけた事に後悔はしておりません。当初は、まーゆっくりマイペースでえーかなと…。ところがドッコイ、サラリーマンよりきついではありませんか、ストレスはないけれど。日が長くなると残業2時間ぐらいうる時も。

はじめは野菜や果菜類いろんな物を作付けして経験し、勉強してきましたが、やっと自分の作型を見つけたかなというところです（3年目）。ビニールハウスでのトマトは他よりも早めに出荷出来順調にしております。久しぶりに嫁いだ娘にユーパックで贈ってやりました。ソラマメ、とうもろこし、と次から次へと自信作を。

ある時、娘と電話でのやり取りをしていたとき「このあいだのとうもろこし、めっちゃ甘くて、ジュシーですごく美味しかったよ」との事。前回のと全然違うかった…。嫁さんに、前どんな贈ったんや？「取り残しの分とか出荷販売出来ないいつも家で食



べているのや」との事。……なるほど、解かった。娘がこれほど感激しているってことは、お客さんも満足してくれている？よしよし。それから1ヶ月が過ぎトマトは自家用専用となりました。ソース、スープ用等、まだまだ役にたっています。



いつものように日没終了、我が家へ帰ると玄関先に小荷物があるではないですか。鼻腔が自然に開くような匂いが突き刺さってくる、みごとにパイナップルが3個も。お返しか？気使わんでもええのに…。

それから5日後、またまた荷姿がよく似た小荷物が宅急便で。なんと、あの高級フルーツと言われていたマンゴー、パッションフルーツ、おまけに泡盛の詰め合わせが。ようできた娘や、早速、礼を言おうと携帯電話で、すると「マンゴーはこっちのお母さんからや…」よう礼言うといてな。そうか、今度はメロン贈ったろかな。贈ったり、貰ったりもええけど、この夏もつかない…。皆様もお体、コンディション整えてがんばって。



原稿大募集！！

エッセイ、体験談等を募集しています。（400字程度）
社団法人 兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター
〒651-2304

神戸市西区神出町小束野30-17

電話078-965-2047

FAX078-965-2659

編集後記

関本です。8月となりました。まだ梅雨明けしてないのか、最近では天候が不順ですね。

原稿を寄せてくださった、指導員の方々、会長、そして6期卒業生の岸本様、本当にありがとうございました。皆様、夏バテなどなさらぬ様に気を付けてお過ごし下さい。29日、皆様の参加をお待ち致しております。